



ハナモモは毎年、美しい花を咲かせます。
(植栽後3年目のハナモモ。2019年4月撮影)

四季を通し五感で楽しめるハナモモの街

＝地域の人も、障がいを持った人も誰もが幸せの風を感じられる＝



高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会

当団体は自分たちが暮らす街をハナモモが咲き誇る桃源郷にしようと植樹活動を行っています。活動のスタートとして、街に新たに誕生した社会福祉法人施設群を縁取る歩道沿いの緑地部で植樹活動を始めしています。来春の植樹場所は知的障がい者施設の斜面地。ここにハナモモと共に芳香を放つ樹木や果樹やハーブを植えて年間を通じて誰もが楽しむことができる場所にしていきます。また、併せて希望者にハナモモの苗木を配布し、個人邸にも植えていただき街中への面的広がりを行っていきます。

動機

当団体は自分たちが暮らす街をハナモモが咲き誇る桃源郷にしようと街に暮らす有志が集まり団体を設立しました。きっかけは、街の中に長期間未利用地となっていた県有地が福祉施設の拠点として開発されることになり、私たちがその中でお役に立てばと思い、植樹活動の場としてお願いしたところ、快くご協力いただけることとなりました。活動を開始してからこの3年間で、社会福祉法人の施設群の道路沿いの斜面を中心に約250本を植えました。活動開始から3年間経ちますが、活動に対する認知度も向上し、お手伝いいただける住民も増え、行政の協力も得ることができ、また、企業様との連携も深まりつつあります。今後は、スタートした福祉施設群の桃源郷化のみならず、目標であった自分達が暮らす街、高森台全体の桃源郷化に向けて活動を推進していきたいと考えています。

目的

ハナモモのみならず、実のなる木やハーブも植えることで、四季折々の花、香りが楽しめるようにします。実、ハーブは「収穫する楽しみ」も得られますし、それらを活用したワークショップを開催すれば「集う楽しみ」にも繋げることができます。今期はハナモモと香りの散歩道の植樹を行います。これまでのハナモモの散歩道と繋がることにより福祉施設で暮らす人たちのみならず、近隣で暮らす多くの方楽しんでいただけるよう進めてまいります。なお、この他にハナモモの街の実現に向けて面的広がりを構築していくため、桃源郷プロジェクトに賛同する方々にハナモモの苗を配布し、街の景色に彩りを添える活動も実施します。少子高齢化が課題となっている高蔵寺ニュータウンですが、本活動を通して、子育て世代の方にもご参加いただけるよう、微力ですが努めてまいります。

ハナモモ育樹祭 (2017年より開始)



育樹祭の日、障がい者施設の方が開いた喫茶室で記念撮影。



市長さん・行政マン・地元企業の方に囲まれ緊張気味のスタッフたち。

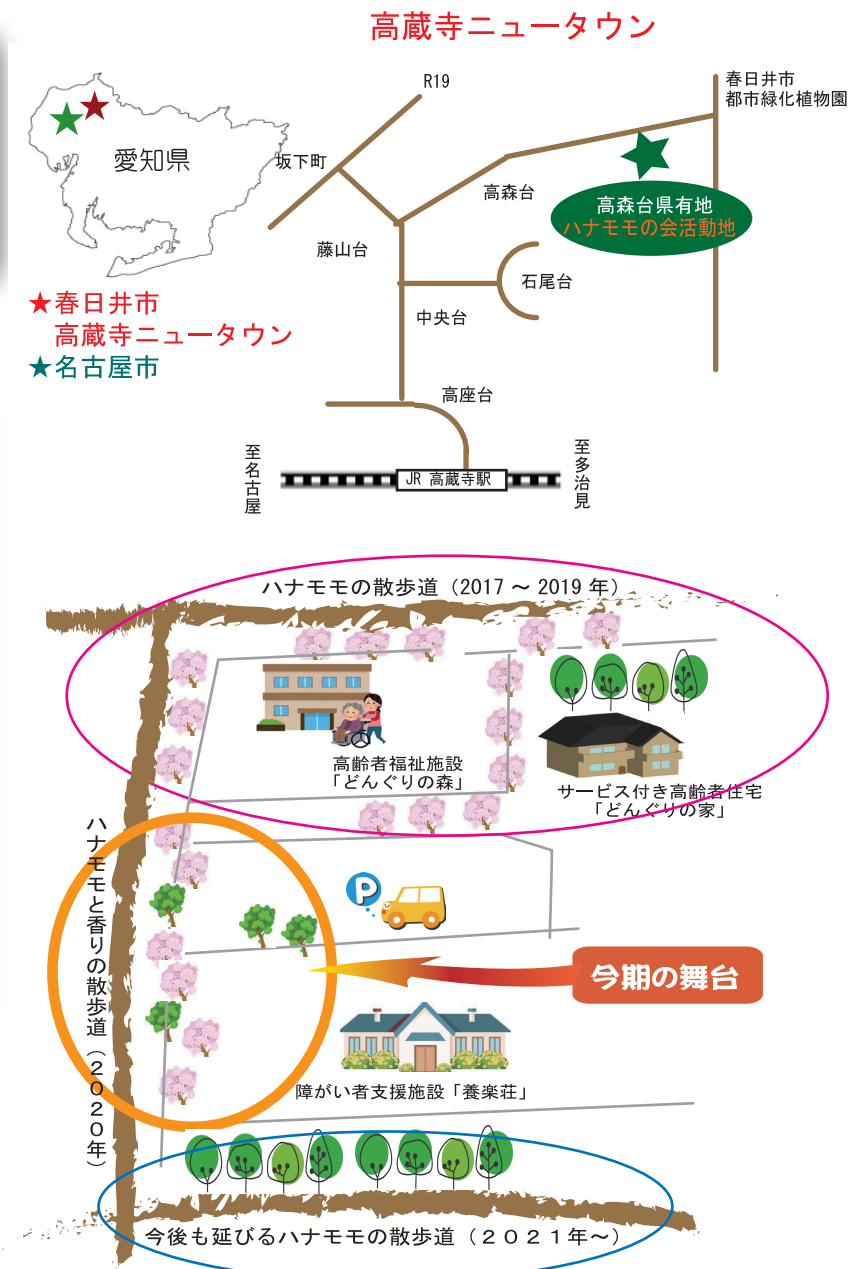
活動の軌跡

ヒマワリ里親大作戦 2016年より開始

ハナモモの開花期が過ぎたら、「ヒマワリ里親大作戦」の準備開始。地域のみなさんにタネを配り、定植可能になるまで家庭で育てていただく作戦。



7月下旬、見ごろを迎えると通りがかりの人もカメラを向けてパチリ！散歩道での「地域の庭」です。

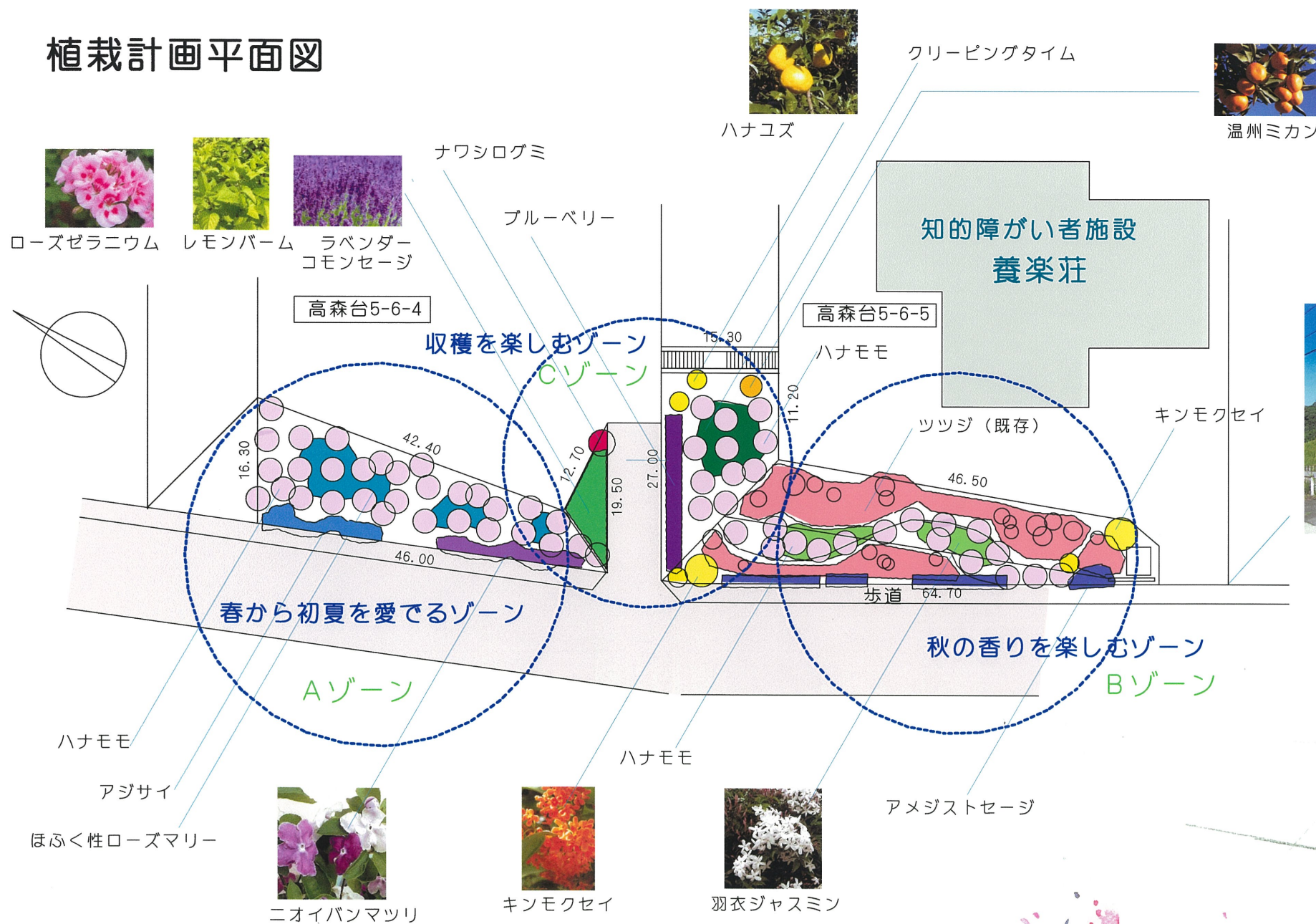


N0	名前	本数	N0	名前	本数
春から初夏を愛でるゾーン			収穫を楽しむゾーン		
A-1	ハナモモ	30本	C-1	ハナモモ	10本
2	アジサイ	10本	2	温州ミカン	2本
3	ニオイバンマツリ	10本	3	ハナユズ	2本
4	ほふく性ローズマリー	15本	4	クリーピングタイム	30株
秋の香りを楽しむゾーン			5	ローズゼラニウム	5本
B-1	ハナモモ	15本	6	レモンバーム	5株
2	羽衣ジャスミン	5株	7	ラベンダー	5本
3	アメジストセージ	30株	8	セージ	5株
4	キンモクセイ	2本	9	ナワシログミ	2本
			10	ブルーベリー	12本
			D	頒布用ハナモモ	100本
			合計16種類		295本

四季を通し五感で楽しめるハナモモの街

高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会

植栽計画平面図



舞台

知的障がい者施設：養楽荘敷地
外周道路に面する斜面

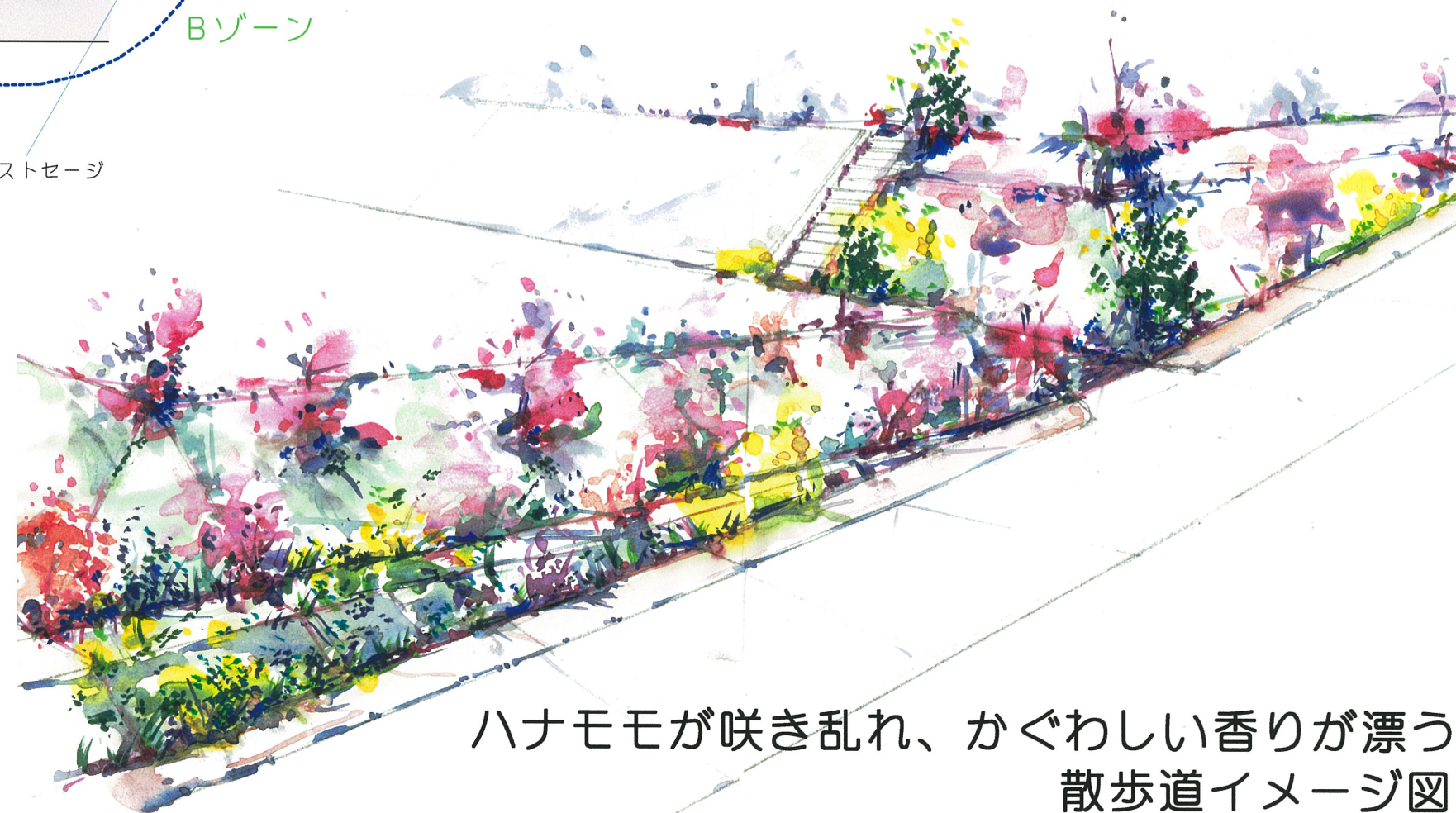


高森台5-6-4



高森台5-6-5

現況写真：2019-08-26



ハナモモが咲き乱れ、かぐわしい香りが漂う
散歩道イメージ図

発想の原点：長野県阿智村
花桃の里

